

## 【22\_050/思考系メルマガ】『確率論』を理解するためのゲームのご紹介

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今週も1週間、お疲れ様でした！

今週は自分の型にハマりにくいと感じる動きでしたが

2建値で資金はしっかり守った形でした(笑)

自分の監視時間外に良い③波が出ている通貨があったりして

そこをしっかりとトレードしている仲間はいたので、僕の記録にばっちり残させてもらいました('A`\*)

▼仲間のナイストレード(笑)▼

[https://twitter.com/taro\\_\\_FX/status/1494673622870671361?s=20&t=cWdp4LiXSlxsHbeukncWjg](https://twitter.com/taro__FX/status/1494673622870671361?s=20&t=cWdp4LiXSlxsHbeukncWjg)

M5足でのMA収縮と③波に注目すると、なぜここでトレードしたのかが  
分かりやすいと思うので、各自のチャートを開いて確認してみてくださいね。

～～

さて今日は、折角の週末で時間がある人も多いかと思しますので

ちょっとした道具を使ってできる『トレード思考』を鍛えるためのゲームを紹介したいと思います  
(笑)

┌  
└─ 確率論を原理的に理解する『サイコロゲーム』

まあ、これ結構有名(?)なゲームなので、見たこと・やったことがある人からすれば

「あー、アレね(笑)」ってなるやつなんですけど

僕も時間があるときには時々やって、色々気付きを得たりしてるので

まだやったことない人は、特にやってみて欲しいなと思います。

<必要な道具>

・サイコロ2個(駄菓子屋や100円ショップとかで売っている安いのでOK)

・お椀

・紙とペン

<やり方>

1. 紙に「(サイコロを振った)回数」「勝敗」「点数」を記入する欄を用意する

2. お椀の中で2個のサイコロを振り、出目の合計を確認する

3. 出目の合計で勝ち負けを決める(勝ち:2~7、負け:8~12)

※この勝ち負けの組み合わせの場合は、理論上の勝率“55%”

4. 勝ったら +2,000点、負けたら -1000点

※リスクワード“1:2”

他にも、「引き分け」の出目の条件を加えたり、敢えて勝率を低く設定してやってみても面白いので、いろいろルールをかえてやってみてください

▼記録の見本▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/saikoro\\_001.jpg](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/saikoro_001.jpg)

やってみると、色々気付くことがあったりすると思うので

思ったこと、気付いたことをそのままノートに書き込んだりしながら

100回くらいサイコロを振ってみてください。

今回は短めの内容となりましたが、明日のメルマガで僕が実際に100回やってみた結果と

このゲームを紹介した意図などを解説しようと思います。